

## 今週のメニュー

## ■トピックス

◇Vinyl Sustainable Forum 2016

塩ビ工業・環境協会 専務理事 関 成孝

## ■随想

◇レソト王国旅行記（6）－独立記念日－

一般社団法人 日本化学工業協会 若林 康夫

## ■編集後記

## ■トピックス

## ◇Vinyl Sustainable Forum 2016

塩ビ工業・環境協会 専務理事 関 成孝

欧州でのリサイクルの進捗状況の報告を兼ねて、毎年開催されているフォーラムです。塩ビ業界関係者だけでなく、UNIDO、欧州委員会、ウィーン市、環境団体などの関係者も参加します。2016 のテーマは都市化が進む中で塩ビ製品がどのような貢献をしていけるか、また、変わっていくべきかというものでした。



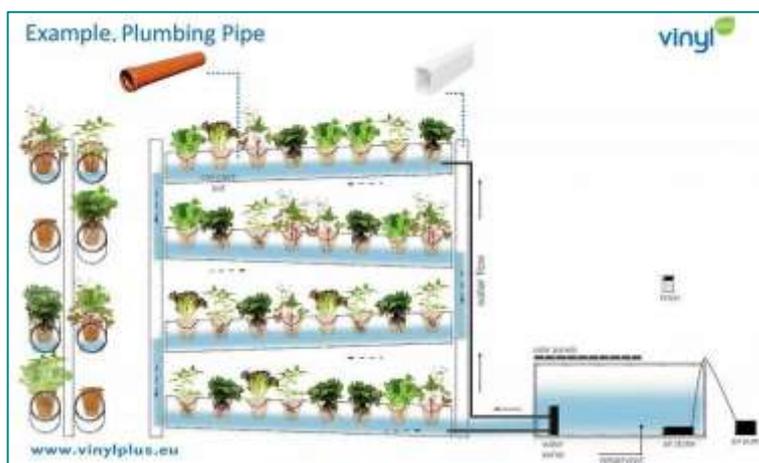
2014 年に出された国連のレポートによると、現在、都市には人口の半分が生活していますが、今後、都市人口は 25 億人増加し、都市に生活する人間の割合は 2050 年に 2/3 に達すると予測しています。都市インフラの整備、及び、都市活動の持続性は大きな課題となります。中でも、ゴミ問題、水問題は大きな課題となります。そのため、これまで以上に 3R を徹底させて循環型社会を形成することが必要となります。欧州は、2020 年迄に、エネルギー効率、再生可能エネルギー使用量、GHG 削減量をいずれも 20 パーセント上げるという目標を立てています。

このような状況において、耐久性、断熱性に優れ、長期間使用後にもリサイクルが可能な素材である塩ビは大きな貢献を果たせるだろうというのが、多くの演者の共通認識でした。言うに及ばず、給排水インフラ塩ビ管が採用されていますが、耐久性、耐腐食性が高いことから、埋設下水管であれば 100 年以上の耐久性があると見られています。また、塩ビ給水管システムは、漏水などの欠陥の発生が他の素材の製品よりもずっと少ないことが指摘されました。

塩ビを使った窓枠は、断熱性の向上により建物でのエネルギーロスを大きく削減できるものとして、これも、高い評価を受けています。欧州では、100 年を越えるような古い建物をリノベしながら使い続けます。リノベの際に、エネルギー効率と住まい心地を高めるための政策支援が行われています。ウィーンでは、窓の交換は外皮の断熱性能向上と併せ

て行うことがルールになっているそうです。機能と共にデザインに優れた製品が必要であることが指摘されました。

窓枠も塩ビ管も使用後の製品のリサイクルが進んでいます。管に生まれ変わることもあれば、木粉などと合わせてデッキ材などの建材となることもあります。雨樋、波板、配線保護カバーなどを含めた硬質建材の新しい用途のFSとして、それらを水耕栽培の給排水、ポット保持台として再利用するアイデアが紹介され聴衆の興味を惹きました。



水耕栽培の給排水、ポット保持台として再利用例

ロンドンオリンピックの様々な競技場で使用された膜材は、デザイン性と経済性に優れた軽量構造物として注目されています。設計段階で考慮すれば再使用がし易く、リサイクル技術も確立されています。複層構造にすることで断熱性能を高めることも可能とのことでした。



Mercedes-Benz Arena, Stuttgart, Germany



Vinyl in European Stadiums

持続性の重要性はこれから益々高まると考えられます。製品の製造、使用、使用後のすべての過程において、資源・エネルギーの節約は重要な課題であり、その上で、デザイン性を含め暮らしの質を高めることが求められます。塩ビ製品、或いは、塩ビを使用した構造物の将来的なポテンシャルは高いようです。

## ■ 随想

### ◇レソト王国旅行記（6）－独立記念日－

一般社団法人 日本化学工業協会 若林 康夫

私が訪問した2015年の10月2日はレソト王国の独立記念日で祝日でした。え？ レソト王国の独立記念日は10月4日でしょ、と思ったあなたは正解です。実はレソト王国も振替休日（厳密には日本の振替休日とは異なります）があったのです。2015年の本当の独立記念日である10月4日は日曜日。そこで、政府は、『今年の独立記念日は10月2日にする』と決めたのです。独立記念日、勝手に変えちゃってもいいんでしょうかねえ？

でも、レソト人は Big Weekend だと大喜び。娯楽が少ないレソト王国ですから、数少ない観光地（とはいっても、遊園地などがあるわけもなく、見晴らしのいい駐車場などです）に家族、親戚、友人など、グループでやって来てバーベキューパーティー。

若い人はホテルのレストランを借り切り、昼間から大盛り上がり。ちょっとした広場でも、音楽に合わせ踊っている人たちが沢山います。

小学生は、何故かバスに乗って日帰り修学旅行に。小学生を乗せた貸切りバスが走り回っており、お昼時には見晴らしの良い場所でお弁当を食べていました。

中学生位の女の子たちは、オシャレをして、集団で集落内をウロウロ。ワタシって、キレイ？ それを、物陰からこっそり覗いている男の子たち。「どの子が好み？」と聞いたら、ワッと顔を両手で隠しました (\*^\_^\*)

私は、ただの通りすがりなのですが、これ食べなさい、ビール飲む？ など、あちらこちらからお誘いの声がかかります。

レソト人、かなりがっしりとした体格の人が多いのですが、見ていると、アルコール分解酵素が少ない人が多いかなと。缶ビールや小型のビンに入ったビールをちびり、ちびり。三分の一ほど飲むと、いきなり陽気に。半分ほど飲むと呂律が怪しくなってきます。一本飲み干す頃には、立派な酔っ払いが出来上がり。もともと、肌の色が黒いので、酔っぱらって顔が赤くなっているのかどうか、さっぱりわからないので、様子を見て判断するしかありません。



レソト王国で出会った陽気な家族

レソト王国、山岳地帯ということもあり、アフリカでも水が美味しいことで知られています。更に、農業国、イギリス領だったこともあり、ビールの原料になる小麦やホップの生産、ビールを作る技術もあります。そうすると作りたくなるのがビール。複数の製造所があり、地ビールが楽しめます (^\_^)v

当然ですが、飲酒運転はご法度。山道での運転になるので、ちょっとしたことが事故に繋がります。このため、独立記念日の今日は警察の検問の数がいつもより明らかに多い。

私の場合、この国でも珍しい、日本人旅行者、それもレンタカーを自分で運転しているので、更に珍しい。最初の検問を無事、通過したら、無線でそのことが流されたらしく、他の検問は全て素通りさせてくれました。もちろん、車を運転していたので、勧められた食事は美味しくいただきましたが、ビールは飲みませんでしたよ。

でも、検問素通りだったから、飲んでもよかったかな (+\*)☆\(-)

(続く)

次回は、(7) ローランド・ハイランドーです。

⇒ [バックナンバー](#)

## ■ 編集後記

ベトナム料理や中国料理などによく用いられているパクチーという食材が最近、静かなブームになっていることをご存知でしょうか。ただし、日本人の半分くらいのひとはその独特な風味がカメムシの匂いに似ていることもあり敬遠するそうです。実は、パクチーにはβカロチンやビタミンCが豊富に含まれています。また、パクチー成分にはキレート作用もあって、有害重金属などを捕らえて体内から排出する、いわゆるデトックス効果もあるといわれています。

さて、先日小金井公園で「アカスジキンカメムシ」というめずらしいカメムシのなかまを見つけ、撮影しました。歩く宝石ともいわれています。安心してください、このキンカメムシにはあの嫌な匂いがありません。(UCH)



## ■ 関連リンク

- [メールマガジンバックナンバー](#)
- [メールマガジン登録](#)
- [メールマガジン解除](#)



◆編集責任者 事務局長 高橋 満

■東京都中央区新川 1-4-1

■TEL 03-3297-5601 ■FAX 03-3297-5783

■URL <http://www.vec.gr.jp> ■E-MAIL [info@vec.gr.jp](mailto:info@vec.gr.jp)